

山形ネット定期会合 9月12日（議事報告）

報告

◎ 会計報告 事務局 収入：1,403,603円 支出：約300,000円《資料3》

⇒多額のカンパが寄せられているが、県内の方が少ない。県内の方に関わりを持ってもらうこと、理解を進めるためにもカンパの「件数」を増やす取り組みをしたい。社会人チームの奮闘が必要。

◎ 機械・物資導入について 冷凍庫の購入方針

⇒冷凍庫の導入する。現在芸工大に在るものとほぼ同型。支払いについて、芸工大事務局としては芸工大口座から購入したい、とのこと。すなわち、山形ネットから芸工大に金額を振り込み、芸工大として購入契約したい、とのこと。山形ネットとして購入し、山形ネットから芸工大へ寄贈と言うかたちはなるべくとりたくないとのこと（その後のメンテナンスや電気料の負担を考えると…）。これだと、冷蔵庫の領収書は芸工大名義で出されるわけ、山形ネット宛直接ではない。この書類処理についてどう扱うか、ということ。

協議

◎ 陸前高田市の要望事項について

○ 山形ネットの基本的方針の確認

⇒山形ネットとしてはこれまで、「カビの発生を止め乾燥させ、クリーニングし、簡易な分類を行って返却」、ということを作業の課題としてきました。今回の陸前高田の「脱塩」方針は、概ね山形ネットの返却後の処理として考えれば、大きな変更はありません。しかし、脱塩の後の山形での管理継続は考えていませんでしたので、この点については課題があります。基本的には被災地・所有者の希望要望に可能な範囲で応えてゆく、と言う方針でいきたいということになりました。陸前高田の作業工程案模式図については添付しました。

○ 対応方法と作業手順の課題

⇒陸前高田市の脱塩方針を受けて、今後の対応を技術的に考えなくてはならない問題があります。処理技術的には米村さんに、管理や保全・手続きの技術的課題については佐藤琴さん、小林を中心に考え、陸前高田にお示ししてゆきます。現在処理が終わった陸前高田資料の一部について試験的に返送し、脱塩の可能性や技術的課題について検討していただこうと考えています。返送の準備については小林さん（米沢）に依頼しています。

◎ 10月以降のクリーニング作業の見込み～山大、芸工大、米短

⇒原則、8月以前の作業日程に戻す。山大は1回/週、芸工大は2回/週（芸工大は10月中旬に研修のため休み）、米沢は1回/週のそれぞれ予定です。詳しくは9月末にお知らせします。関係する方は、変更の場合は日程が入っている場合はお知らせください。

◎ クリーニング作業新方式の検討 《資料5》

⇒各地の研究会や学会、博物館の友の会などに呼びかけることとする。

◎ パネル展示チームについて

⇒米沢女子短大、山大などの学園祭、芸工大の展示会を一つの目処にパネル作成と日程調整を行う。作業工程については、9月末までに佐藤琴さんにお示ししてもらう。

予定

◎ 今後の予定 学会報告2件

◎ 大学祭の取り組みなどの報告

⇒芸工大 9/24,25（パネル展示の予定なし）、米沢女子短大 10/8（パネル展示したいと考えている）、山大 10/22、23（やっちゃんえればなあと考えている）、公益大 10/22,23（まだちゃんと相談していない）、芸工大の展示会 10月下旬（パネル展示をする）、こんな感じです。

◎ いも煮会と10月定期会合

⇒忙しいけれど、どこかでしょう！